土木學會定時總會の概況

毎年一回の定時總會ではあるが役員の改選其他の重要事項があるので熱心なる會員諸氏が何れも皆多少の期待を以つて出席されれた今回の總會出席會員は數に於て前回と大差なく百人前後と見られたが、岡野會長の講演は『土木家の教育養成と自覺』と云ふ大きい問題に觸れ、會務の報告方法に就ての便法を會員より提案するなど例年の總會よりも幾分の眞劍味が見られた。

事業報告は先づ丹治主事より事業の報告あり、村主事より會計報告あり、何れも前年度より一層盛況に進みたるを知るべし。

次に役員の改選に移りて先づ本年退任すべき役員を次の如く發表あり。

會長岡野昇、副會長井上秀二、常議員井上範、大岡大三、加賀山學、中村謙一。

留任すべき役員は次の如し

副會長中川吉造、常議員黑河内四郎、福田次吉、牧野雅樂之丞、米山辰夫。

新役員の投票は岡野會長の指名にて樺島正義氏其他が立會人となり別室にて開票の結果投票總數四百五十三票、其内四百八票は送付したるもの、四十五票は本日出席會員中のもの、而して其得票數は次の如く發表せられた

會長	田邊朔郎	412票	當選
同	中川吉造	次點	
同	那波光雄	次點	
副會長	八田嘉明	387票	當選
同	眞島健三郎	次點	
常議員	眞田秀吉	當選	
同	前川貫一	當選	
同	近新三郎	當選	
同	久保田敬一	當選	

最も活氣を呈したのは晩餐會の席上であつた、今回の晩餐會は出席者の數も前回より多く、デザートコースに入るや中川副會長は先づ新會長田邊博士と新副會長八田嘉明氏を紹介し、同時に前役員諸氏に挨拶を述べられた次いで田邊會長、八田副會長から簡單な挨拶があり、次いで井上前副會長からも叮重な退任挨拶があつたが、次に中川副長指名のテーブルスピーチがあつた。

第一に指名されたのが新井榮吉氏で突然の事で何等腹案もないがと前提して土木學會のため、全國土木技術家のための希望を述べ、次に安倍邦衛氏、眞田秀吉博士其他二三の指名スピーチありてのち那須章彌氏より土木學會禮讃、役員禮讃の辭を述べ、一同歡談の内に散會した。場所は丸ノ内帝國鐵道協會、尙ほ**當夜出席者名次の如し**。

（關西支部記事は32頁參照）

（アイウエオ順）

安藝杏一	安倍邦衛	荒井緑
有福誠一	粟野定次郎	井上秀二
井上範	井上二郎	池田圓男
池邊稻生	磯海國吉	市來尙治
稻垣兵太郎	今泉安之助	衣斐清香
遠藤藤吉	小野基樹	大井田瑞足
大河内甲一	大河戸宗治	大竹卯八
大塚晃長	岡崎保吉	岡野昇
岡部三郎	奥村長作	金井彦三郎
樺島正義	川上浩二郎	北澤惇夫
日下部辨二郎	藏重哲三	來島良亮
近新三郎	近藤仙太郎	佐藤利恭
鈴木鹿象	田賀奈良吉	田川正二郎
田邊朔郎	竹内季一	武田侃弍
丹治經三	土田鐵雄	島越金之助
那須章彌	那波光雄	內藤定靜
中川吉造	中桐春太郎	中村謙一
中山秀三郎	永井松次郎	永山彌次郎
丹羽鋤彦	西尾鉦次郎	糠澤惟介
野村龍太郎	馬場豐藏	橋本一萬
八田嘉明	伴宣	原全路
原田貞介	福田十太郎	福田次吉
二見鏡三郎	古市公威	細野吉彦
眞島健三郎	前川貫一	前田與一
三輪周藏	村幸長	山田隆二
山本信要	山本新次郎	米元普一
米山辰夫	渡邊六郎	